

生涯学習やまがた



創刊にあたつて

(公財)山形県生涯学習文化財団専務理事

山形県生涯学習センター所長 松田 洋

山形県生涯学習センターは、平成2年に設置され、まもなく25年を迎えます。本県における生涯学習推進の拠点施設として、人材養成、学習情報の提供、調査研究、学習機会の提供などの事業に取り組んでまいりました。今ではそれぞの地域や分野で生涯学習活動が展開されるようになってきています。

一方、少子高齢化の進行、人口の減少等に伴い、地域によってはコミュニティの維持が困難になるなど、多くの現代的な課題にも直面しています。県民の皆さんの自発的な学習を通して人と人がつながり、学んだことを活かして地域づくりに参画していくような山形らしい生涯学習の取組みが活発に行われるこことを期待したいと思います。

センターでは、喫緊の課題として学習情報や広報の充実に取り組んでいます。すでに、学習情報システムの見直し作業を進めており、年内にはリニューアルスタートします。この情報紙もその一環として創刊したもので、事業の案内や成果報告のほか、地域での学習活動もどんどん紹介し、双方向での情報交流の場にしたいというのが我々の想いです。センターとしては、平成18年発行の『ゆうがく山形No.30』以来の情報紙となりますが、内容もスタイルも「新しての再スタート」です。皆さんのお力で、時代に即した『生涯学習やまがた』にふさわしい紙面になるよう育てていてほしいと願っています。

特集！山形県生涯学習センター事業紹介

人材育成

社会教育関係職員等の研修

公民館やコミュニティセンターを利用されたことはありますか？皆さんが住んでいる市や町のこれらの施設、役場の社会教育課、生涯学習課の職員は、皆さんの学びを支える存在。くらしを豊かにするための講座、それぞれの地域づくりに関わる講座やイベントなどを運営しています。こうした市町村の社会教育、生涯学習関係の職員の資質向上を目指し、県教育委員会と連携して、初任者向けのパワーアップセミナーと、中堅者向けのスキルアップセミナーを開催しています。

パワーアップセミナーは、「社会教育」「生涯学習」って何だろ？という基礎的なことから、豊かな学びの場をつくり、地域づくりを支えるための職員の役割や、どんな力量が必要かを学ぶためのものです。

スキルアップセミナーは、職員として必要な知識や技術を磨くために、ほかの町の取組を参考にしたり、みんなが楽しくコミュニケーションをとれるワークショップの手法を学び、悩みを共有して解決方法を探ったりと、多様に展開してきました。今年度は、広報とファシリテーション力にポイントを絞り、そのスキルを着実に磨ける内容になっています。より活発な学びの場を提供できるよう、それぞれ地域の学びを支える職員のステップアップを目指し、セミナーを開催します。 CHECK! P8

参加者 Voice

グループワーク

形式での進め方はよかったです。今後の事業運営にすぐ使わせていただける、いくつものヒントをいただき、有意義なものとなりました。

事例提供

『先輩からの“ちょこっと”メッセージ』は実践的な話をお聞きできました。事業の概要を参考に、自分の公民館で活用していきたい。県及び各市町村の担当者と話をできる場を設けていただき有意義な研修でした。

5月22日 パワーアップセミナー

本当に暑かった…

会場は熱気に包まれた！

最初に行ったアイスブレイクで盛り上がり、参加者の緊張がほぐれて会場の雰囲気は柔らかいものに。地域の場で活用できるようなワークショップを取り入れ、社会教育や生涯学習に関する法令や施策について学びました。先輩職員には、インター



ビュー形式で仕事への取り組み方、悩みなどの体験談をお話しいただきました。

子どもの頃から読書を通して沢山の言葉に触ることは、感性を磨き、創造力を豊かにし、そして、人生をより豊かなものにしていきます。保育園や幼稚園、図書館や小中学校では、子どもたちの読書活動を支えるために、絵本の読み聞かせをするボランティアの方々が活躍しています。今年度はボランティア指導者を養成するための講座を開催します。

読み聞かせボランティア 指導者講座

平成9年に山形県で開催された「ねりんピック」を機に発足し、県内9地域で元気に活動しています。地元の観光協会などと連携し、スキル向上や活動環境整備のため、現在も継続的に支援を行っています。今年の山形DCでもたくさんのお客様に心あたたまるおもてなしをしてくださっていることでしよう！

シルバー観光 ボランティアガイド

学習情報の提供

生涯学習情報の提供システム



HPは年内中に新しくなり、
もっと使いやすくなる予定です!

〈ホームページ〉
<http://www.gakushubunka.jp/>

県民の皆さんのがんばりの応援ツールとして、山形県生涯学習文化財団のホームページ上に、県内の「講座・イベント情報」、「生涯学習データベース」を設置しています。データベースでは、文化施設や公民館などの生涯学習関連施設の「施設情報」、講師や生涯学習実践家の指導内容や活動履歴などの「講師・指導者情報」、生涯学習やボランティア団体の活動内容の「団体・グループ情報」といった山形県内の情報を探すことができます。県内全体の伝承活動を網羅し、映像記録や資料を収集した地域文化データベースの「ふるさと塾アーカイブス」サイトも運営しておりますので、皆さんの学びのパートナーとして、ぜひお役立てください。

* * * * * 遊学館情報提供コーナー * * * * *



1階受付付近には、県内の市町村や文化施設などから送られてくる、イベント・講座などのポスターやチラシが設置されています。あなたの「知りたい」「学びたい」に応える何かがここにあるかも!?



1階図書館への入口付近には、県内の市町村広報紙を取り揃え、県外の生涯学習誌も多く設置しています。自分の町以外の学びの様子を、ぜひ一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。

7月11日(第1回)日本の歌は私たちと共に 青島広志氏・小野勉氏

登場からすぐに笑いが沸き起こり、一瞬にして青島ワールドが広がりました。ユーモアたっぷりと日本の音楽の歴史をお話しされ、受講生の皆さんは楽しく勉強できた様子。青島氏の軽快なピアノと、小野氏の勢いのある声に合わせて、一緒に歌ったり踊ったり。始終会場中が陽気に包まれました。受講生は、「楽しかった!」と口々に漏らしながら帰られ、第1回講座は盛況のうちに終了しました。



シニアの方々の生きがいづくりや健康づくり、地域リーダーの養成などを目的に、平成3年に開講した仙人講座。中央の著名な講師や地元で活躍する講師をお迎えし、時事、交遊、環境、音楽など、バラエティに富んだ内容で構成され、複数回のシリーズで毎年開講してきました。24年目の今年度が最終回になる予定です。

仙人講座

学習機会の提供

昨年度は山崎亮氏による講演会 ふるさとを元氣にする方法 ～人がつながるしくみをつくる～

地域づくりに不可欠な地元住民との関わり方、まちを元気にするアイディアや発想など、取り組みの様子を映像で紹介しながらお話しいただきました。

新庄会場では、最後の10分間にグループワークを行い、参加者同士自己紹介をして、感想のシェアをして盛り上がりいました。



地域文化の活性化や現代的課題の解決に繋がるテーマで、そのテーマに精通した講師をお招きし、講演会やセミナーを開催しています。課題の解決に向けて、住民自らが学び、参画することはとても重要なこと。今年度は「地域コミュニティの活性化」をテーマに開催し、考え方や学んだことを活かす方法、地域づくりにどう参画すれば良いかなどの手法について、様々な切り口から学び、地域コミュニティの活性化につなげています。

地域文化創造講演会

山形学

山形の魅力を学ぶ

6月29日「山形学」フォーラム 「日本人の老いと死」

山折哲雄氏による基調講演。日本人の死生観の変化や涅槃仏などについてのお話に参加者もじっくりと耳を傾けていました。3名の講師による鼎談では、民俗学や宗教学の観点から「東北・山形における死と鎮魂と再生」という、難しいテーマをわかりやすくお話しされ、改めて死生観を見つめ直す機会となりました。

7月12日「山形学」講座

「生きる道しるべ 老いと死と生」

第1回講座「死と鎮魂供養と生」では、山形独特の風習であるムカサリ絵馬とモリ供養について学び、亡くなった家族の叶わぬ未来を引き継ぐ遺族、非業の死を遂げた者を慰め地域の繁栄を祈ってきた昔の人々、それぞれの供養の形から死をどのように受け入れるべきか探りました。

「山形学」は、自らの地域について学ぶ（山形を知ること）を通じて、地域のアイデンティティーを高め（山形に生きる）、さらに、地域の未来像を描き、実現させていくための推進力となること（山形を創る）を目指す生涯学習活動です。自らの地域を知り、そこに生きる一人として自分自身を振り返る学びでもあります。平成元年の創造企画会議で構想され、平成2年に講座がスタートしてから、四半世紀が過ぎています。その先駆性・継続性から、全国的にも高い評価を得ています。

25回目となる今年度は、超高齢社会をむかえ、誰もが避けて通れない大きな課題「老いと死」をテーマに、豊かな老いや死を模索するなかで、それぞれの山形での生き方を考えてもらおうというもの。重いテーマでありながら、フォーラム・講座とともに定員を上回る多くの方にお申込みいただき、関心の高さが伺われます。

「山形学」で皆さんも山形の魅力を探つてみませんか？

【山形学】の魅力を全国に発信中！

四半世紀のあゆみをまとめ『山形学 山形における地域学の成立と展開』（「山形学」企画委員会編2014）を発刊しました。是非ご一読ください。

財団・県内書店・アマゾンで好評販売中♪税込1,620円



平成25年度 『食から考える山形』

参加者 Voice

平成24年度 『音学やまがた』

郷土の食文化の魅力と価値に気がついた。県内外の友人・知人に堂々とアピールしたい！

音に対し無関心になりすぎていたように思う。生活の音、生活においても同じ。その中で生かされていることを感じました。

昨年度は、シニアから高校生まで”商店街・ブックトーク”若者・鉄道・福祉・農業・自然・文化・歴史…“さまざまなキーワードで地域を学び活動しているグループ25団体が集いました！全団体によるポスターセッションの後、投票で選ばれた『もうちょっと聴きたい！』2団体と特別シンポジストの話を聞き、それぞれの活動の工夫や秘訣、疑問に迫り、続くワークショップで悩み解決やアイディア磨きをしました。パラエティに富んだたくさんの事例を学べるプログラムが好評でした。今年度も11月1日（土）に遊学館で開催予定です。ご期待ください！

ワークショップ

シンポジウム

投票が多かった団体が
シンポジストに！

【昼食休憩】
もっと聞きたい団体に感想や
質問を付箋に書いて投票！

（当日のプログラム）
ポスター見学＆投票
ポスターセッション



地域を学ぶ仲間が集う地域学交流集会

連携・支援

「山形学」地域連携講座への支援

「山形学」と想いを同じくする仲間の活動を支援し、これまで約90団体、380講座が展開されています。



地域活性化にむけた学習活動の支援

市町村や関係施設などが実施する地域活性化にむけた生涯学習活動を、平成21年から支援しています。これまで約20団体、40事業が開催されています。

『ふるさと再発見』

「宮沢城を語ろう」

〈宮内の歴史を語る会〉

南陽市宮内の中心に存在した宮沢城について、絵図や古文書、他城との比較により実像を探り、観光資源としての活用を考える講座。講義や現地学習のほか、ワークショップを各回に盛り込み、地域の過去から未来を捉え、想いや提言、課題や解決策などを語り合います。学びから行動へ、地域づくりを見通した歴史学習プログラムです。

『鮭川と川魚(漁や利用法)にまつわる文化を学ぶ』

〈サーモンロードの会〉

伝統的な漁や料理の体験を通して、地域の食生活改善推進員や漁協組合員らと大人から子どもまで、川と人との繋がりを学び、昔の知恵や新しい方法などを語り合い、報告書にまとめます。川漁師の高齢化への危機感に端を発したこの講座、体験を通した学び合いとその記録化は各地で今失われつつある文化伝承のヒントとなりそうです。

『絵本作家読み聞かせ講演会』

『わが町の案内人』

『養成講座』

〈山形市教育委員会〉

子どもだけでなく大人にも絵本の楽しさを伝え家庭での読み聞かせを推進しようと、著名な絵本作家による講演会を毎年開催しています。町内では全学校で読み聞かせボランティアが朝読書や学童保育の読み聞かせを行ななど活発な活動を展開。学校図書室では月一人当たりの図書貸出冊数が全国平均6冊に対し9冊と1.5倍というのも成果の一つです。

小説家になろう講座

「小説家(ライター)になろう講座」は、平成9年にスタート。山形市在住の文芸評論家・池上冬樹先生が講師兼司会となり、真剣かつカジュアルがモットーの有志による自主運営の文学講座です。プロの作家や文学賞受賞者も生まれていますが、作家志望者のみならず、文章を書く人なら誰でも参加できる文章を愛する人のための講座です。全国的にも注目されている創造的な講座ということから、平成22年から支援を続けています。第一線で活躍中の作家や編集者が講師となつて、毎月1回第4日曜日に遊学館で開講。参加ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

やまがたおもちゃ病院

「団塊の世代」が、退職後に積極的な地域活動などの社会参画を促進することを目的に開催した「おもちゃドクター養成講座」。その講座の修了生（おもちゃドクター）が中心となって設立したのが「やまがたおもちゃ病院」です。おもちゃドクターが、子どもたちと楽しくふれあいながら、ボランティアでおもちゃの修理を行つております。壊れたおもちゃ、捨てる前に病院へ！

【開院日・場所】(原則)

- ▶ **山形診療所** 每月第3土曜日・遊学館
- ▶ **庄内診療所** 每月第1日曜日・鶴岡市中央児童館
開院日は変更になる場合があります。
詳細はホームページをご覧ください。
- ▶ **やまがたおもちゃ病院webサイト**
<https://sites.google.com/site/yamagatatoy/>

あのまちに
注目!

市町村の取り組みを紹介します

酒田市 幼児も保護者も熱中する親子活動

『里仁館 親子わくわくサタデー』

■ 内容 ■

親子で四季を通じて庄内の豊かな自然や文化を体験する連続講座(年間9回)です。海・山・川の中で魚や虫を捕まえたり、夏祭りや正月遊び、餅つきをしたり、自然体験や伝統行事体験を通して、豊かな感性を育み、家族の絆を深めていきます。大変な人気で、毎年定員の倍近くの応募がありますが、夏冬2回、誰でも参加できる公開講座を設けることで、抽選にもれた方も含め、さらなる交流の輪が広がります。また、保育関係者にもモデル事業として参考にしてもらっています。

■ ここが大変 ■
雨天時の活動も準備しておかなくてはならないこと。また、毎回家族30組総勢100名を超える参加者に対応するためのボランティアスタッフを確保する必要があること。

■ ここがうまくいった ■
雨天時のメニューが好評で、翌年の正式メニューになりました。

ミミズ
やフナに直接手
でさわる良い機会にな
った。満面の笑顔で
『気持ちいい～!』と言つ
ていた子供の顔に感
動した。

参加者
Voice



子育てのこと、他の作家さんのことなど、長野さんの絵本を通して知ることができて大変良かったです。本当に本は人と人をつなぐものだと思いました。

参加者
Voice



都会と田舎の生活、その二つの橋渡しというおぼろげな夢を現実にしたいと講座に参加し、思いをこめてプランを発表しました。今は米沢と東京のパイプ役として期待に応えられるよう頑張っています。(平成25年度最優秀賞受賞者)

参加者
Voice



中山町 ほんわ館 読書活動推進事業

『絵本作家講演会&調べ学習講座』

■ 内容 ■

町立図書館「ほんわ館」を会場に、絵本作家の鈴木まもる先生と長野ヒデ子先生より講演会を、児童文学評論家赤木かん子先生より豊田小学校3年生の特別授業として調べ学習授業を開催。著名な絵本作家の講演会を通して、絵本の楽しさを伝えることで、学校・家庭・地域での読み聞かせ活動を広げ、子どもたちの読書推進につなげます。調べ学習授業では、子どもたちが本や図書館を活用して学ぶ方法を知ることができます。

■ ここが大変 ■
アンケートではリピーターが多く、より多くの町民に来てもらえるよう、企画を工夫する必要があります。

■ ここがうまくいった ■
絵本作家講演会では、自分の視野が広がったなどと好評だったので、第一線で活躍している方と接する機会がとても良い刺激となつたようでした。

■ ここが大変 ■
受講者や発表者を安定的に確保できないこと。プランが発表作品にまでもまらないものがあること。受賞まであと一息のものが、次年度に再挑戦してもらえないこと。
■ ここがうまくいった ■
県などの行政担当者が、「補助金を使って実現しませんか」と声をかけてくれたこと。地域のニーズを取り込み活躍し続けている講座修了生がいること。

米沢市 まちづくりプランナー創出事業

『米沢まちづくり人財養成講座』

■ 内容 ■

まちづくりのノウハウを学び、「まちづくりプラン大賞」コンペティションでプランを発表する事業は、今年で5年目。学習の成果が適切に評価され、多様な主体と連携・協働し、学ぶ喜びと教える喜びを市民が成功体験できるように実施しています。地域おこし・地域活性化などで活躍している多彩な講師を迎え、プランづくりのヒントにつながる講座を実施。無料参加で年齢制限がないため、高校生が大人と一緒に受賞したこと。

■ ここが大変 ■
せんか」と声をかけてくれたこと。地域のニーズを取り込み活躍し続けている講座修了生がいること。

遊学館販館案内

遊びの場、お探しですか？

レッスンの成果を発表したいホール

演劇、ダンスやピアノの発表会など、学生や地域の方々が日頃の成果を発表する場としてご利用いただけるのがホールです。座席は324席あり、全国規模の講演会や学会を行うにも最適な場所。舞台技術者が常駐しているので、音響や照明の知識がなくても安心してご利用いただけます。



高座を組んでの落語



パネルディスカッション



1階ギャラリー



2階ギャラリー

写真・書道・絵画など、見てもらいたい作品はありませんか？1階と2階のギャラリーは、創作活動の作品展示の場としてご利用いただけます。スペース使用料は無料！展示パネル・展示ケース（備品使用は有料）を常備していますので、ぜひ展示してみてはいかがでしょうか。

創ったものを披露したいギャラリー

遊び合いたい研修室

研修室は、その名のとおり学習するための場所。和室・大小研修室をあわせ全部で7室あり、会議や研修、講演会はもちろん、簿記といった資格講座、ヨガや手芸、長唄の練習にも使用されています。人数や使用用途に合わせたご案内ができますので、ぜひ一度お問合せください。



100名規模の第一研修室



特別会議室

駐車場について

遊学館には駐車場がありませんので、文翔館東側の県営駐車場をご利用ください。下記の手続きにより、ご利用時間に応じて最大2時間までの割引が受けられます。
＜手続き＞入館時と退館時に1階総合受付に駐車券をご提示ください。

飲食スペースについて

ロビー、ホールは飲食禁止です。1階の喫茶コーナー「遊とぴあ」か、2階の飲食スペース（11:30～13:30）にてお願いします。自販機はありませんので、「遊とぴあ」のテイクアウトをご利用ください。



山形県緑町文化学習施設「洗心庵」では、名造園家の岩城亘太郎が手掛けた大変見応えのある庭が再現されています。四季折々の散策をお楽しみいただけるほか、展示会、研修会、会議など幅広い用途に使用できる多目的ホールを備え、多くの方々が心和やかに活動を楽しむことができる環境を提供しています。



洗心庵 分館

Information Space

遊学館青少年学習活動支援事業 関係者向け

県内高等学校文化部が遊学館を利用して活動成果の発表などを行う際に、助成を行っています。ぜひご活用ください！

▶募集期限 平成27年1月31日(土)【必着】

▶事業実施期限 平成27年2月28日(土)まで

▶助成事業数 8事業(予定数に達した段階で締切)

▶助成金額 助成対象経費又は5万円のいずれか低い額

▶助成対象経費 印刷費・通信運搬費・消耗品費・賃借料など
(会場使用料など除く)

▶申請方法 事前連絡の上、募集要領・助成金交付要綱をよく読み、事業実施日30日前までに申請書を提出



地域文化創造講演会

一般向け 関係者向け

社会の変容に伴う、地域コミュニティの衰退の危機などの重要課題解決のため、県内3ヶ所で開催。キーワードは「人が地域を元気にする」です。

【庄内会場】

▶日時 10月18日(土)13:30～15:30

▶会場 東北公益文科大学鶴岡キャンパス
大学院ホール

▶テーマ 「上杉鷹山と庄内」
～鷹山に学ぶ地域コミュニティの活性化～

▶講師 青木昭博 氏
(米沢市文化課主幹・郷土資料主査)

【村山・置賜会場】

▶日時・〈置賜〉10月23日(木)南陽市中央公民館
会場 〈村山〉10月24日(金)遊学館

※時間は両会場とも18:30～20:30

▶テーマ 「地域づくりにコミュニティデザイナーを!」

▶講師 岡崎工三 氏
(東北芸術工科大学コミュニケーション
デザイン学科准教授)

生涯学習関係職員

関係者向け

スキルアップセミナー

市町村の生涯学習課や公民館・コミュニティセンター職員の方向けの研修会を開催します。講座情報を分かりやすく魅力的にお届けできるようにスキルアップを目指す「広報資料作成」と、楽しい企画を住民の皆さんと作っていくように話し合いの力を磨く「ファシリテーション」の二つのテーマを予定しています。

【広報資料作成】

▶庄内会場 11月10日(月)庄内町余目第三公民館

▶村山会場 12月 5日(金)遊学館

【ファシリテーション】

▶庄内会場 11月27日(木)

東北公益文科大学公益ホール

▶村山会場 12月 2日(火)遊学館

※時間は両テーマ両会場とも10:00～16:00

作家トークショー

一般向け

「逢坂剛&諸田玲子 愉快な小説夜話」

大ヒット作「百舌」シリーズや「重蔵始末」シリーズなどの時代小説を世に輩出した逢坂剛氏と、代表作『其の一日』の諸田玲子氏による豪華共演のトークショー。お二人に時代小説の魅力について存分に語っていただきます。

▶日時 9月20日(土)16:00～18:40

▶会場 遊学館

▶定員 320名(先着順)

▶参加費 1,000円

【申込方法】

氏名・郵便番号・住所・連絡先電話番号・申込人数(□名)を明記の上、葉書・FAX・メールで山形県生涯学習センターへお申込みください。後日、チケットと郵便振替用紙をお送りします。お一人様最大2名まで1通限りの申込み。未就学児の入場はご遠慮ください。チケットはセンターでも販売中。

次回発行は12月末の予定です

編集発行 (公財)山形県生涯学習文化財団

山形県生涯学習センター 〒990-0041 山形市緑町1-2-36[遊学館 3F]

TEL 023-625-6411 FAX 023-625-6415 E-mail yama@gakushubunka.jp URL http://www.gakushubunka.jp

▶開館時間 9:00～21:00[夜間利用の申込みが無い場合は19:00まで]

▶休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始

洗心庵 [山形県生涯学習センター分館] 〒990-0041 山形市緑町1-4-28

TEL 023-664-2800 FAX 023-664-2816

▶開館時間 9:00～21:00[夜間利用の申込みが無い場合は19:00まで]

▶休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始